

平成 28 年度 第 2 回萩市立図書館協議会 議事録

日時 平成 29 年 3 月 8 日 (水)

10:00 ~ 11:30

会場 萩市立萩図書館

| | |
|---------------|--------------------------------------------------------|
| 出席者 協議会委員 7 名 | 三好健二委員・津田和夫委員・大島昌子委員 館分朋世委員・藤原重子委員・福島和子委員 杉山芳文委員 |
| 教育長 | 中村 哲夫 |
| 市民活動推進部長 | 児玉 崇 |
| 事務局 | 萩図書館 江山館長・横山館長補佐 松浦主任 |
| | 須佐図書館 河口主任 |
| | 明木図書館 青水館長・森岡主任司書 |
| | 田万川中学校図書館 杉山総括補佐 |
| | NPO萩みんなの図書館 澤井理事長 |

1. 開会のことば（青水館長）

ご出席、ありがとうございます。昨年 4 月の明木図書館の新館オープン以来、利用者も増え、地域の学習の拠点として位置づけられてきた。本年度 2 回目のご協議をよろしく。

2. 教育長あいさつ

3 月 4 日に萩・明倫学舎がオープン、明治維新 150 年に向け重要な役割を持つ。盛り上げていかなければいけない。協議会委員を 2 年間務められ、ありがとうございました。萩図書館は先日、入館者が 200 万人を超え、学び舎として活用されている。今年度から、明木図書館は学校図書館の機能も兼ねる公共図書館として、新しい取組みを始め、言語力の育成を掲げて子どもの学力向上支援を目指している。明木小・旭中の取り組みが今後他校の参考になると思っている。

3. 三好会長あいさつ

任期最後の協議会となる。ご協力ありがとうございました。2020 年度から順次実施される小中学校の学習指導要領の改正が、新聞紙上に発表された。これは、「アクティブラーニング」と呼ばれ、従来の知識注入型の方針を改め、子どもたちが主体的に討論や発表によって、意見を交わしながら学習し理解を深めていく手法で、地元の自治体と地域のバックアップによる学習環境の整備が必要となる。萩図書館は NPO との協働運営、明木図書館は学校図書館との連携が始まっており、かなり良い位置にあるのではないかと思う。地域のバックアップというところでは、更に一步進んで、子どもたちの利活用の方向に一步進めていいかのではなかろうか。読書会、読み聞かせ、ビブリオバトル等の活動を 5 ヶ年計画に織り込んでいただき、学習環境整備の一事業として継続されたい。

横山補佐 標定により、議長は会長があたることになっていますので、三好会長、よろしくお願ひいたします。

4. 議 事

会 長 議事 (1) 各図書館の平成28年度事業報告及び平成29年度事業計画について、事務局から説明を。

横山補佐 萩図書館の事業報告・事業計画等について説明（協議会資料1料）

河口主任 須佐図書館の事業報告・事業計画等について説明（協議会資料1）

森岡主任司書 明木図書館の事業報告・事業計画等について説明（協議会資料1）

杉山総括補佐 田万川中学校図書館の事業報告・事業計画等について説明（協議会資料1）

会 長 各館から説明がありましたが、意見・質問は。

委 員 須佐図書館を舞台にしたドラマがあったが、利用者の増加など、何か影響は。

河口主任 地元ではBSを観られる人が少なくてあまり反響はないが、県外から「本当に24時間開館しているのか、どうやって運営しているのか」という問い合わせがあった。広島から見学者もあった。まだ地域の方の利用向上にはつながっていないが、今後PRをすすめていきたい。

委 員 自分の本をシークレットで包装して紹介し、本を交換しあうというコーナーがあった。参加したかったが、期間が短くて参加できなかった。楽しい企画だったので、もっと期間を長くして、周知されてはどうか。

委 員 ライブラリーセッションや夏の歴史館などのイベントが好評だということで、頑張っていると感じる。私は60歳を過ぎてからよく図書館を利用しているが、意外に利用していない人が多い。私は家が近く恵まれているが、遠方の方は恩恵を受けていない人も多い。先日、朗読の会に参加した。優秀で実力ある司書の職員がいるので、もっと市民に還元してほしいと感じた。以前本の検索方法を教わって利用の幅が広がった。図書館に教科書が置いてあれば見てみたい。アンケートは来た人へのアンケートであり、来ていない人の声を聞くにはどうすれば良いのだろうか。小・中学校の学校だよりが市報と一緒に配布されるが、図書館も市報と一緒にお便りを配っては。

委 員 「アクティブラーニング」という話が出ていましたが、子ども達が本を読んで考えることが大事。教育現場の先生と図書館とのかかわりを考えると、明木図書館は新館開設前後でどのように変わったか。

森岡主任司書 学校の様子が分かるようになり、先生方との距離も近くなった。今まで中学生は生活時間と開館時間が合わず、利用することができなかつたが、一緒になったことで中学生の利用が増えた。

委 員 多くの人が利用するためには、どうしたらよいかということを考えるのが一番大事。アピールの仕方を工夫することが必要。児童クラブが明木図書館の隣にあるが、子どもたちが図書館に行くので、支援員も一緒に行くようになり、自然に読むようになる。まずは図書館に来てもらうことが発展につながっていく。以前に比べ、グレーゾーンの子が増えっていて、支援員としてその子ども達とどう接するか課題になっている。図書館で参考になる本を探したいが、古い本が多く、結局本屋に行って買っている。新しい参考になる資料を揃えて欲しい。

会 長 一度も足を踏み入れていない人に来館してもらうにはどうしたら良いかという課題に對して、アンケートの設問を考えるのは難しい。これまでインプット一辺倒だったが、

「アクティブラーニング」導入ということで、アウトプットも必要になってきた。若い人はインプットで足りない部分は、スマホ検索で補っているが、情報の中から必要な情報を選ぶ能力は、社会で時間を費やした我々と違って、子どもには難しいと思う。そういう意味で、ネット上の情報より、書いたものである本の方が信頼できる。

NPO萩みんなの図書館では、色々な啓蒙活動をしている。読書会にもいろいろバリエーションがある。一人が読んで、それを紹介する読書会、みなで同じ本を読んで語り合う会や、親子読書会など。他の図書館で企画されているが、小学生には自由研究講座、中・高生には、キャリア教育支援等もできると思う。ビブリオバトルで、大人の中に高校生が参加して優勝したこともある。更に小中学生に広げられたら良いのではないか。読書感想文、感想画コンクールなど、今までに行っている活動を発展させると幅が広がっていくのではないか。

横山補佐 先ほど藤原委員がおっしゃった行事は、ぶらりブラインドブックマーケットと言う。今年度で2回目となり、2ヶ月間開催した。今後もっとPRをしていきたい。

会長 議事(2) 萩図書館利用者アンケート結果について、事務局から説明を。

横山補佐 アンケート結果について説明(協議会資料2)

会長 全国学校図書館協議会と毎日新聞社共同で毎年、小・中・高校生の読書調査をしている。小学生の学校図書館で働いている先生への要望第1位は「本がある場所を案内して欲しい」。中高生では第2位。小学生の要望第2位は「安心して居られる場所」で、中高生ではこれが第1位。どういう解釈をしたらよいか、館はどう思われるか。

江山館長 今回アンケート実施の一番の目的は、設問1の「来館目的」を知るため。一部のヘビーユーザーに支えられているのが現状。利用者の裾野を広げる働きかけのとっかかりを見つけたかった。結果は、本を借りに来られる方が3割、勉強する方が3割、残りの4割は空間を求めて来られていることが判明。今図書館は学校でいうと教室ではなく、保健室のような心安らぐ居場所。本が好きな人だけでなく、心地よい空間、人の出会いの場を求める人に使われている現状を公開、広報して発信すれば、もっと図書館を利用していただけるのではないかと思う。

会長 書店に行くと、それぞれのコーナーにどんな人がいるかを観察している。図書館の光景と比較してみると、書店は比較的家族で来店している人が多い。ちょっと様相が違うように感じ、これはどういうことなのかなと思う。

委員 書店は本を買うことが目的。子どもが本を買うには、大人を連れて行くことが必要。小さな子ども連れのお母さんが多いのは、子どもの遊ぶ場所があるから。賛否両論あるが、子どもを遊び場コーナーに置いて、ゆっくりお母さんが本を選ぶことができるの魅力。ただし、従業員にとっては、子どもが母親を探して道路に出る可能性もあり、問題もある。

会長 以前講演会で聞いた熊本の図書館は、図書館の運営ではないが、同じ建物内に子どもを預ける場所があった。

委員 図書館に来ない人にどうアンケートを取るかが課題。

委員 「待ち合わせの場所は図書館」というのは良い案。ここで待ち合わせをすれば、本を読んで待つことができる。できれば、図書館にミーティングの場所があればもっと良いと思う。その中で、ヘビーユーザーに変わっていく人もあるのではないか。駐車場もあり、個人的にも待ち合わせ場所に使ってみたいと思った。また、20代で図書館に来る人の中で、カードを作っていない人が多いということだが、利用促進を考えたらいかがか。

会長 「萩図書館で会いましょう」というフレーズはいかがか。

江山館長 図書館では借りると返さないといけない。時間がない中で、本は買うものと考え、図書館には行かないという人もいる。

委 員 図書館は何をしてもよい場所、くつろげる場所ですよ、というPR・呼びかけが大事。また、子連れの大人がゆっくり本を選べる環境あればと思う。難しいかもしれないが、子どもを保育士さんに預けている間に本をゆっくり選べるといいと思う。益田市の書店を利用しているが、子どもの遊び場スペースがあり、子どもがそこにいる間に自分が本をゆっくり選ぶことができるので、良く利用している。若いお母さんだとそういう環境整備がされた図書館だとありがたいと思う。働いている世代にとっては、須佐図書館のように24時間開館していると、仕事が終わって気軽にに行くことができ利用しやすい。そういう仕組みが良いと思う。

会 長 議事(3)萩市立図書館協議会委員の任期について、事務局から説明を。

横山補佐 任期が3月末で終了する。2年間、ありがとうございました。今後も皆様方のご意見等を頂戴し、更に発展していきたいと思う。引き続きよろしくお願ひする。

5. 報 告

会 長 報告事項について、事務局から説明をお願いします。

森岡主任司書 明木図書館と学校との連携について説明

会 長 「アクティブラーニング」や、図書館と学校との関係等、教育長の立場としてどのようにお考えでしょうか。

教育長 新しい学習指導要領が公表され、そのキーワードは「アクティブラーニング」。しかし内容は、すでに学校現場で先生方が取り組んでいることを更に強調しているというようなニュアンス。それをもっと対話的で深まりのある学びにするために、どうしたら良いかと考え出された手法が「アクティブラーニング」で、小中高校の学習指導要領の中で強調し、子ども達の学力をつけていくこと、ということになった。この「アクティブラーニング」を実践するために、図書館の役割は非常に大きい。10年ほど前に明木小学校で研究発表会があり、県下に学校の取り組みを発表する場があった。明木小学校では、言語力の育成に力を入れていた。例えば、学校行事のマラソン大会や終業式などの後、すぐに子どもたちに文章を書かせるということを徹底していた。書くという作業をする際には、内容をまとめ、思いを文章にすることが必要。それにより、言語力が育ってきた。これは国語だけでなく、理科や社会、その他の教科にも影響し、その後の学力を高めることができる。この取り組みを見直し、どうしたら萩市全体の子ども達の学力の向上となるのか、「アクティブラーニング」の導入に伴い、考えていこうとしている。今、山口大学の教職大学院に派遣している教諭がいるが、どういう実践を具体的に萩市でしたら良いか研究してもらっている。来年度からそれを実践していく予定。特に明木小・旭中学校は図書館が併設しており、実践しやすい場所にあると思う。そういうところで研究していくことで、新しい学習指導要領への対応もできるのではないかと思う。明木図書館では、図書館と学校で互いの決まり事ができ、これから中身が伴っていくのだと、期待しております。

会 長 私は以前海外営業をしており、アメリカでも仕事をしていた。2020年度から英語教育が小学3年生に下りてくる。コミュニケーションは会話中心と思われがちだが、私の仕事上の経験では書くことのウエイトが非常に高かった。文化の違いを考慮して論理的に書かないといけない。書く訓練をすることは非常に重要。

6. その他

横山補佐 平成29年度第1回目の協議会は、6月末に開催予定。

平成25年8月から、山口市立図書館との市民相互利用を開始しているが、平成29年4月1日から、長門市立図書館との相互利用を開始する。

7. 閉会のことば（江山館長）

2年間の任期、4回の協議会の中で充分ご意見をいただけたか危惧している。今後も図書館利用者の裾野を広げるための支援を引き続きお願いしたい。年度末、市民病院に図書室が設置される。NPO萩みんなの図書館が運営を受託するのでこちらも周知の支援をお願いする。ありがとうございました。

萩図書館

【平成28年度の事業について】

平成28年4月1日から障害者差別解消法が施行されたことにより、紹介コーナーを設置するとともに、障害者サービスのさらなる充実のため、点字絵本・布絵本・大活字本・マルチメディアデイジー図書や電子書籍等の充実を図りました。「萩・明倫学舎」オープンの共催事業として、「藩校明倫館の蔵書」展示やデジタルアーカイブスでの公開を行いました。夏休み期間中の7月23日から8月5日の14日間、利用者アンケートを実施しました。NPOとの協働運営により、各種行事・企画展示等を積極的に行い、平成29年1月23日には、新図書館開館から入館者が200万人に達し、セレモニーを開催しました。

【平成29年度事業計画について】

昨年度に引き続き、「ライブラリーセッション」、ミニ歴史講座「夏の歴史館」を開催する予定です。「萩市子ども読書活動推進計画」の最終年にあたり、5年間の取組みのまとめと、次期5年間の第2次計画を策定します。「NPO萩みんなの図書館」との協働をさらに推進し、市民に親しまれる図書館活動に努めます。

【28年度の主な行事 *定例行事を除く】

| | |
|------------|-------------------------------------|
| 4/1～ | 「図書館の障害者サービス」関連展示 |
| 4/4～4/30 | 「石巻市・萩市の友好都市協定」関連展示 |
| 4/24 | ワークショップ「ペーパークラフト教室」 |
| 5・10・2月 | ビブリオバトル |
| 6/1～6/30 | 「男女共同参画週間」関連展示 |
| 6月～2月 | ライブラリーセッション |
| 6/18 | お父さんとおじいちゃんの読み聞かせ |
| 7月 | ミニ歴史講座「夏の歴史館」 |
| 8/7 | 大人のためのおはなし会 |
| 8/10 | 夏休み特別企画ワークショップ |
| 9/10 | 講演会「死にたくなったら図書館へ」 |
| 10/1～10/30 | 「萩市男女共同参画推進月間」関連展示 |
| 10/1～11/30 | ぶらいんどぶっくま一けっと |
| 10/30 | 第6回萩図書館まつり |
| 11/13 | 古本市 |
| 12/1～1/5 | 「漱石忌」没後100年 関連展示 |
| 12/4～12/10 | 「人権週間」関連展示 |
| 1/23 | 入館者200万人達成セレモニー |
| 3/5 | 講演会「これであなたも収納名人」 |
| 3/26 | tupera tuperaのワークショップ「なりきりお面をつくろう！」 |

須佐図書館

【平成 28 年度の事業について】

毎週金曜日の小学生を対象としたあそびの会「まなぼう館でレッツチャレンジ！」や毎週木曜日の育英小学校へのよみきかせの出前、小中学生を対象とした「まなぼう館だより」の発行など、子どもの読書推進活動を従来どおり継続して実施しました。

また、24 時間図書館として、職員不在の時間帯でも利用者が自分で本を探しやすいよう、書架の見出しを追加し、館内案内図及び基本的な図書館サービスがわかる「まなぼう館利用案内」を作成し配布を開始しました。

【平成 29 年度事業計画について】

図書館の資料分類法を知らなくても、図書館資料を十分活用していただけるように、書架案内図とは別に、各テーマ別に資料・書架を案内するパンフレットや、「まなぼう館利用案内」で紹介した各サービスを詳しく説明するパンフレットを作成し、より一層の図書館活用を促進します。

【28 年度の主な行事 * 定例行事を除く】

| | |
|-------------|--------------------------------|
| 4/23～5/15 | 子どもの読書週間行事 「布のおもちゃ・えほん展」 |
| 6/1～6/30 | 「男女共同参画週間」関連展示 |
| 7/22～8/14 | 夏休み行事 「しあわせ絵本の世界展 ‘恐竜&’ ディズニー」 |
| 8/19 | 夏休み行事 「夏休み工作会 オリジナルモビールを作ろう！」 |
| 10/29 | 読書週間行事 「古本市」 |
| 10/29 | 読書週間行事 「工作会 10 分でできる！豆ノート」 |
| 10/30～11/10 | 読書週間行事 「体験教室 ブックコーティング」 |
| 12/1～12/14 | 「人権週間」関連展示 |
| 12/17～1/18 | 朗読屋パネル展 |
| 1/19～2/19 | 男女共同参画推進展 |
| 3 月下旬 | 春休み行事 「ふしぎの会」 |

明木図書館

【平成 28 年度の事業について】

明木小学校・旭中学校に併設して新明木図書館が建設され、平成 28 年 4 月 8 日に開館式を行い、開館記念展示として「松林桂月写真展」を開催しました。また、新図書館の開館に伴い、Wi-Fi、読書通帳機 mini の導入、利用者用端末によるセルフ貸出、乳幼児向けの「ちっちゃんおはなし会」を開始しました。

新規事業として、図書館ボランティアを募集し、夏休み子ども教室や行事、書架整理、図書館通信の配布準備などの補助をしていただいています。

オリンピックの開催に合わせ、東京オリンピックの際のポスターや広報誌、関連図書の展示を行いました。その他、しきけ絵本展や資料展、パネル展、似顔絵展などを開催しました。

11 月には旧図書館の解体工事を行いました。

平成 29 年 2 月からは、明木図書館の開館 1 周年記念写真展として「明木図書館ができるまで」を開催し、明木図書館が建っていく様子を写真で紹介しています。

【平成 29 年度事業計画について】

子どもの読書週間特別行事として、新しい図書館では初めての「図書館でこんなことしたよ」写真展を開催します。平成 28 年度に開催した行事の様子、子どもたちが図書館を利用する様子などの写真を展示します。

子ども向けの定例行事や地域に根差した行事や展示等は引き続き行い、さらに地域の方の協力を仰ぎ、新しい明木図書館をより多くの方に利用していただけるよう努めます。

また、学校図書館の機能も兼ねる図書館として、学校との連携を図り、小・中学校の児童・生徒・教師への読書案内、学習支援に努めます。

【28 年度の主な行事 * 定例行事を除く】

| | |
|------------|---------------------------|
| 4/8～5/31 | 開館記念展示「松林桂月写真展」 |
| 4/8～5/15 | 子どもの読書週間特別展示「しきけ絵本展」 |
| 6/1～6/30 | 男女共同参画資料展示 |
| 6/29 | 「お父さん・おじいちゃんの読み聞かせ会」 |
| 7/20～9/30 | 「オリンピックを応援資料展」 |
| 7/21～8/26 | 「夏休み子ども教室」 |
| 10/4～11/30 | 図書展示「萩ケーブル『図書館だより』で紹介した本」 |
| 11/1～11/30 | パネル展「明治日本の産業革命遺産」 |
| 11/6 | 「古本市・写真展・ふろく釣り」 |
| 12/4～12/10 | 「人権に関する図書コーナー設置」 |
| 12/3～1/29 | 「似顔絵・イラスト展」 |
| 1/6～2/5 | 「男女共同参画パネル展」 |
| 2/1～4/16 | 開館 1 周年記念写真展「明木図書館ができるまで」 |

田万川中学校図書館

【平成 28 年度の事業について】

調子の悪かったシステムを更新し、スムーズに処理ができるようになりました。

また、今年度も引き続き、毎月テーマを決めて本の紹介コーナーを作り、「図書館だより」でも案内しました。毎月実施している「読み聞かせ会」も、今年度は、保育園や大人の方にも呼びかけました。

取り扱っている雑誌についても紹介しました。

【平成 29 年度事業計画について】

館内の「本の紹介コーナー」や毎月の「読み聞かせ会」の実施、「図書館だより」の発行は、継続していく予定です。

また、ひとりでも多くの方に利用してもらえるよう「須佐図書館」の貸し出しサービスについて情報発信していきたいと思います。

【28 年度の主な行事】

10/29 古本市

12/2~12/25 男女共同参画パネル展示

毎月 読み聞かせ会

テーマ展示

「図書館だより」を発行

アンケート結果

平成28年7月23日から8月5日の14日間、利用者の皆様にアンケート調査を実施しました。6,060人（入館者の43.7%）とたいへん多くの皆様にご協力いただきました。ありがとうございました。

今回のアンケート結果を活かし、さらなる市民サービスの向上につとめ、皆様の暮らしに役立つ図書館となるよう取り組んで参りますので、これからもご支援くださいます。ようお願いいたします。

萩市立萩図書館館長

調査結果について

アンケート設問数は、全8問（資料1）で、回収率は高い日で52%、低い日で36%でした。（資料2）

設問1 来館目的（複数回答可）

全体では、「貸出・返却」が30%、「読書」が22%、「自習、雑誌を読む」が10%～12%、「新聞を読む」、「調べもの」が7%という結果でした。（資料3-①）年代別でみると、19歳以下は「読書と自習」が25%～26%と一番多く、20代は「自習」が29%で最も多かったです。30代以降70代までは、「貸出・返却」が32%～39%と最も多く、続いて「読書」が20%でした。80代以降も「貸出・返却」が最も多かったが、続いて「新聞」という結果となりました。その他の来館目的は、トイレ利用や休憩、喫茶利用等がありました。（資料3-②）

設問2 性別

全体では、女性の回答者が男性を少し上回り、53%という結果でした。（資料3-③）年齢別にみると、40代までは女性の回答者が多く、58%～69%で、50代は男女が半々でした。60代以降は、男性の回答者が女性を上回り62%で、80代以降の回答者数は少ないものの男性が75%を占めました。（資料3-④）

設問3 年齢

回答者は、10代が最も多く27%、続いて60代が20%、40代が13%、30代・50代がそれぞれ11%、70代が10%、20代が6%、80代以上が2%という結果でした。（資料3-⑤）

この割合は、昨年度の該図書館利用登録者の年代別割合（資料3-⑥）とほぼ同じであることから、回答者の割合は入館者の割合にも置き換えると考えられます。

設問4 職業

全体では、会社員や自営業等の勤め人が、合わせて34%、学生等が28%、主婦（夫）及び無職の人を合わせて33%という結果でした。（資料3-⑦）
無職の人の利用が21%あり、図書館が居場所として利用されている実態が推察できます。

設問5 利用者カード

全体では、回答者の2割の人が利用者カードを持たず
に利用されていました。

最も利用者カードを持たない年代は20代で、63%の
所有率という結果でした。
逆に、最も利用者カードを持つている年代は70代で、
87%でした。

(資料3-⑧)

設問6 利用頻度

全体では、週1回程度の来館が25%で最も多く、続いて2週に1回程度が20%、2~3日に1回程度が15%、年に1回、年に数回程度がそれぞれ14%、ほぼ毎日が12%という結果でした。

年代別にみると、60代以下は週1回程度が最も多く、70代以上は2週に1回程度が最も多いという結果でした。
(資料3-⑨)

設問7 利用日

全体では、41%が曜日に関係なく来館されており、土・日・祝日は31%、平日は28%という結果でした。年代別にみると、19歳以下は、土・日・祝日が最も多く、30代は平日が最も多いという結果でした。その他の年齢は、曜日に関係なく来館される方が最も多くなりました。(資料3-⑩)

設問8 利用時間

全体では、時間に関係なく利用するが最も多く30%で、12時～15時が23%、9時～12時が19%という結果でした。

年代別にみると、概ね60代までは時間に関係なく利用するが最も多く、70代以上は9時～12時の来館が最も多いという結果でした。（資料3-⑪）

資料1

萩市立萩図書館のご利用に関するアンケート

いつも、萩図書館をご利用いただきありがとうございます。
さて、萩図書館では今後の図書館運営に役立てるため、小学生以上の方を対象に利用者アンケート調査を実施いたします。

利用者の皆様には、お忙しい中たいへん恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。
なお、この調査は無記名で、かつ調査結果はすべて統計的に処理いたします。

平成28年7月
萩市立萩図書館長

※以下の質問について該当する項目の番号に○をつけてください。

問1 本日の来館目的はどれですか。(複数回答可)

1. 本・雑誌・視聴覚資料 (CD・DVD・ビデオ等) の貸出・返却のため
2. 本を読むため
3. 雑誌を読むため
4. 新聞を読むため
5. CD・DVD・ビデオ等の視聴のため
6. 調べものをするため
7. 自習(学習)のため
8. 行事に参加するため
9. インターネットパソコン(図書館設置パソコン)を利用するため
10. 待ち合わせ場所として利用するため
11. その他 ()

問2 あなたの性別について、あてはまるものを選んでください。

1. 男
2. 女

問3 あなたの年齢について、あてはまるものを1つ選んでください。

1. 19歳以下
2. 20~29歳
3. 30~39歳
4. 40~49歳
5. 50~59歳
6. 60~69歳
7. 70~79歳
8. 80歳以上

問4 あなたのご職業について、あてはまるものを1つ選んでください。

1. 会社員・公務員ほか(臨時職員を含む)
2. 自営業
3. 主婦(夫)
4. 学生等(小学生・中学生・高校生・大学生)
5. 無職
6. その他()

問5 萩市立図書館の利用者カードをお持ちですか。

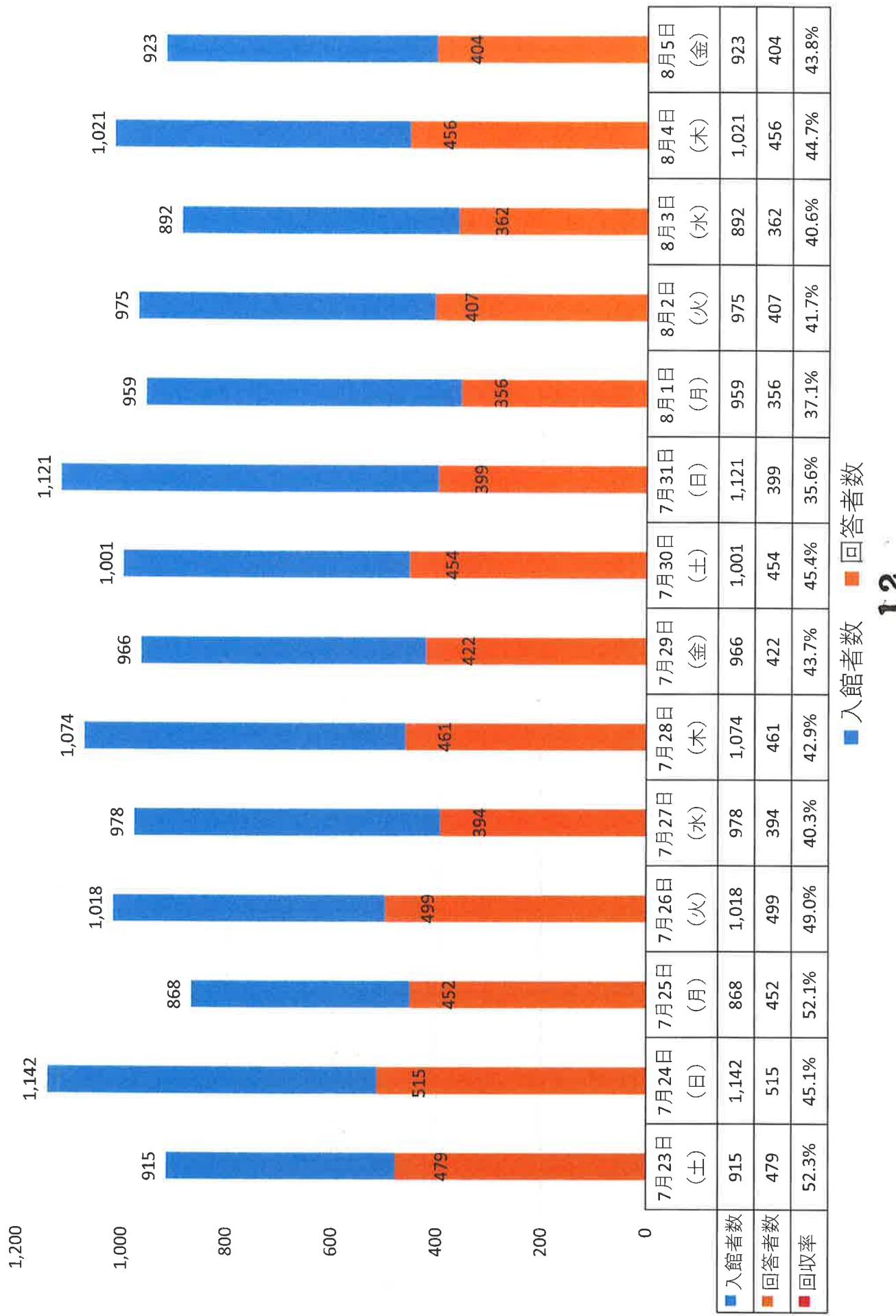
1. 持っている
2. 持っていない

裏面があります

以上で終了です。ご協力いただきありがとうございました。回収箱に入れてください。

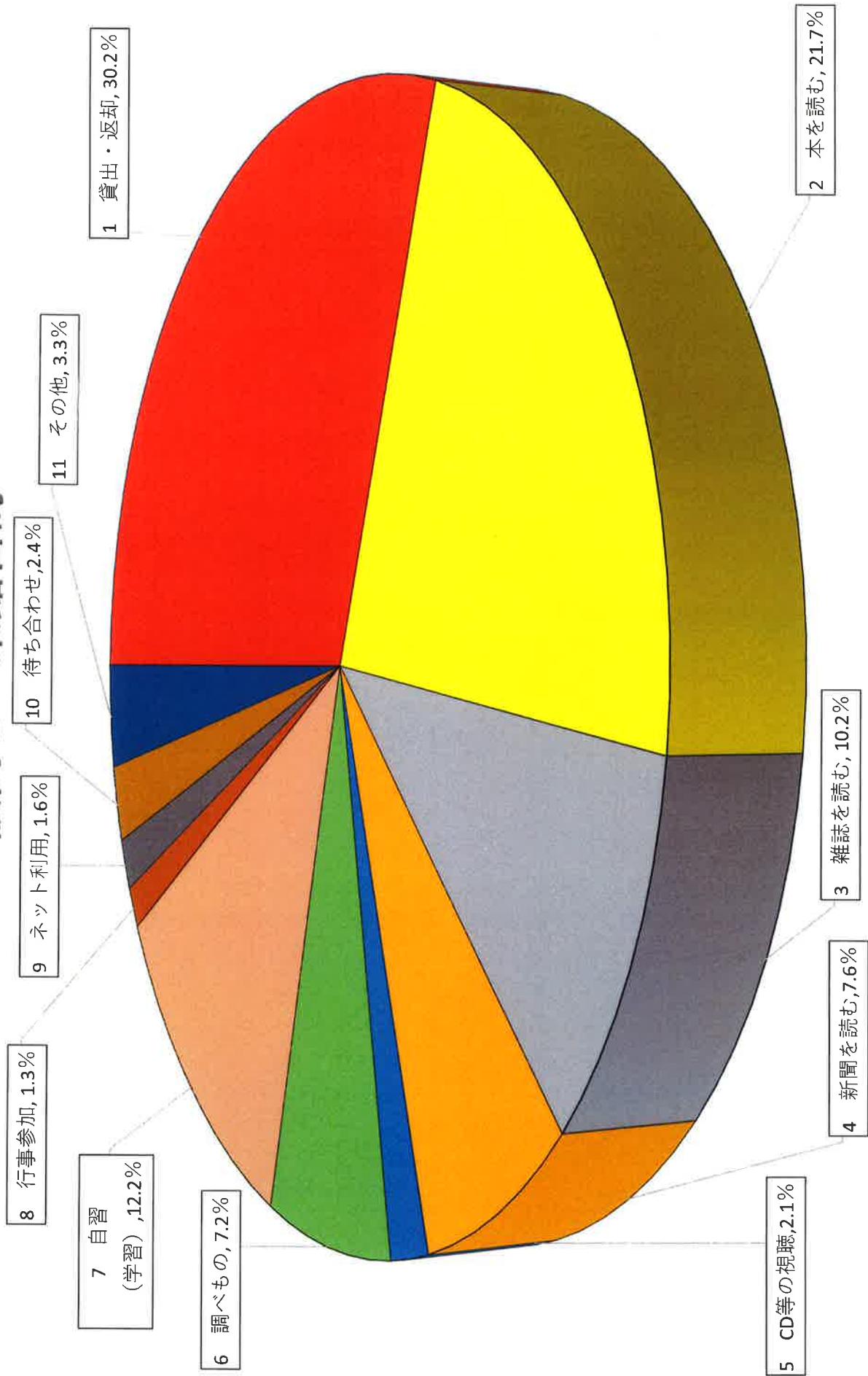
アンケート回収率

資料2



設問1：来館目的

資料3-①



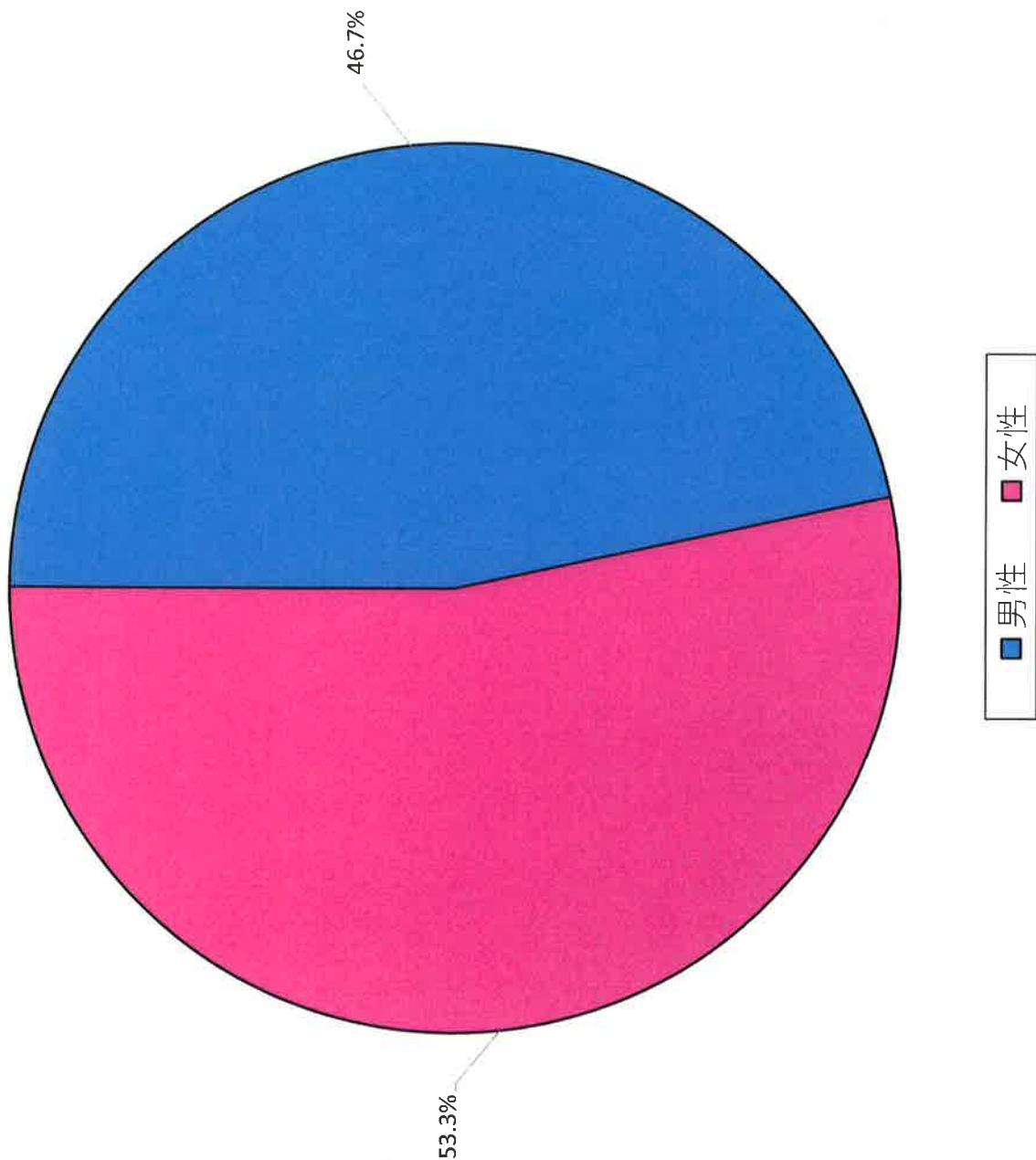
設問1：来館目的（年代別）

資料3-②



設問 2：性別（全体）

資料 3 - ③



設問2：性別（年代別）

資料3-④



設問3：年齢

資料3-⑤

資料3-⑥

30.0%

25.0%

26.8%
23.1%

20.0%

15.0%

10.0%

5.0%

0.0%

19歳以下

20~29歳

30~39歳

40~49歳

50~59歳

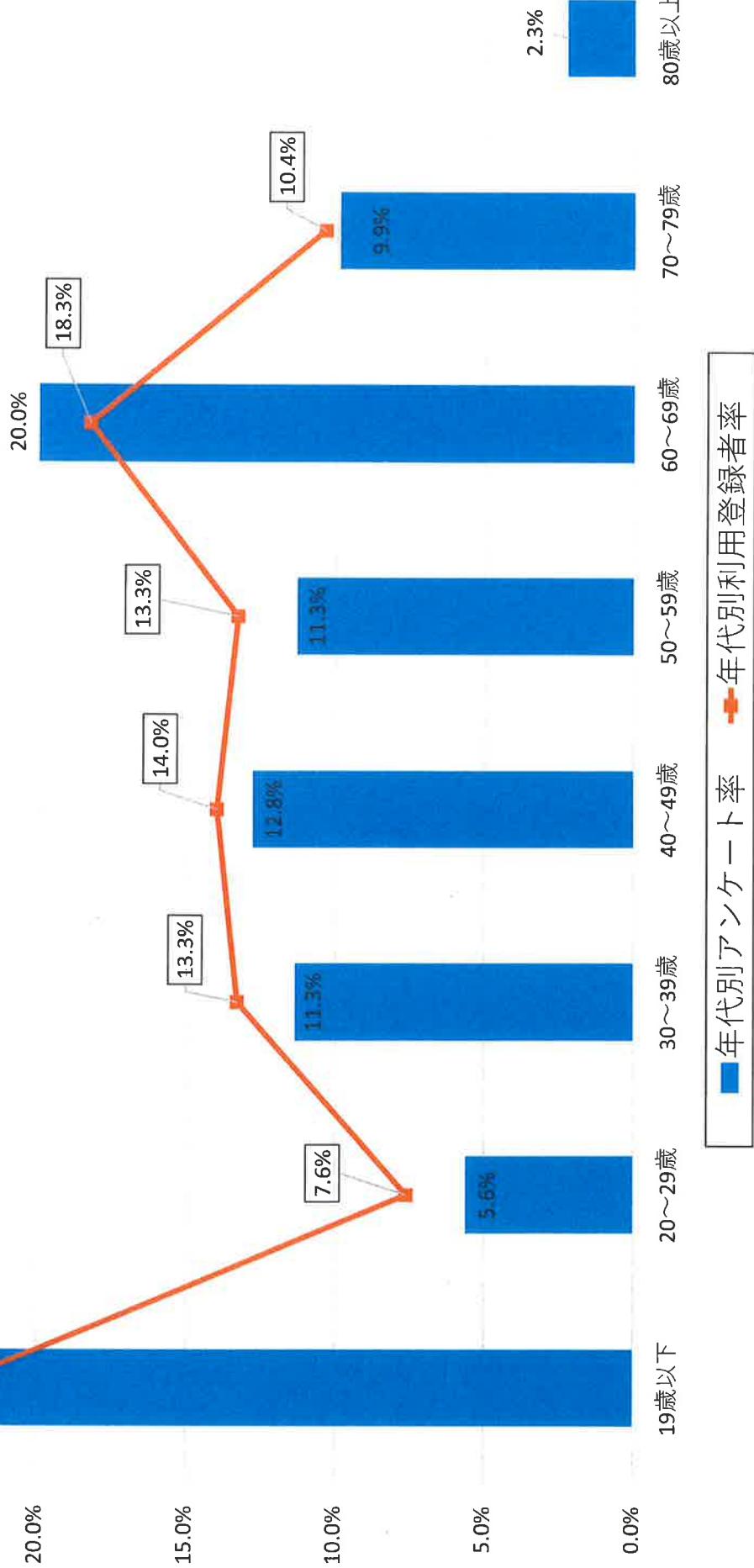
60~69歳

70~79歳

80歳以上

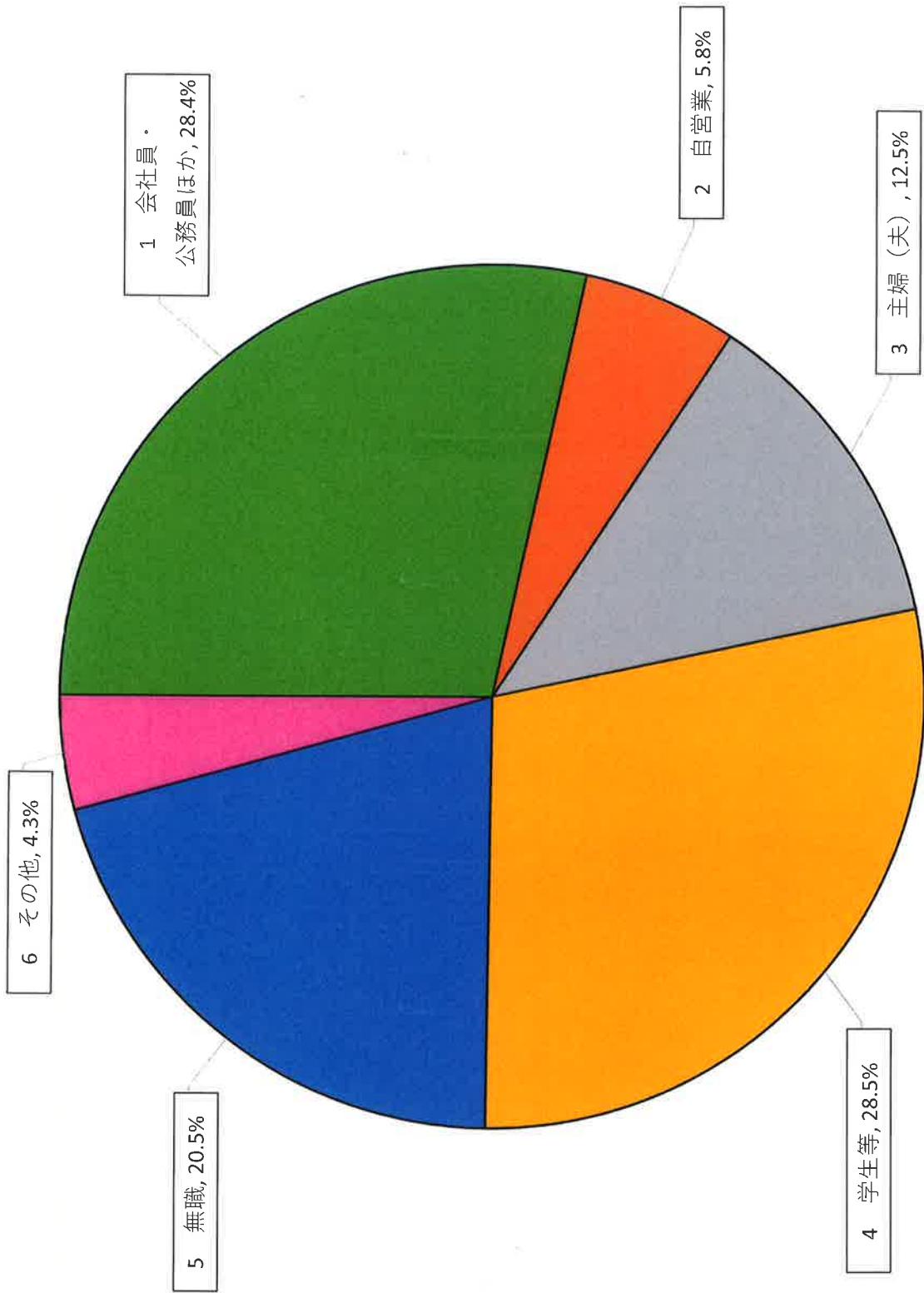
■年代別アンケート率

●年代別利用登録者率



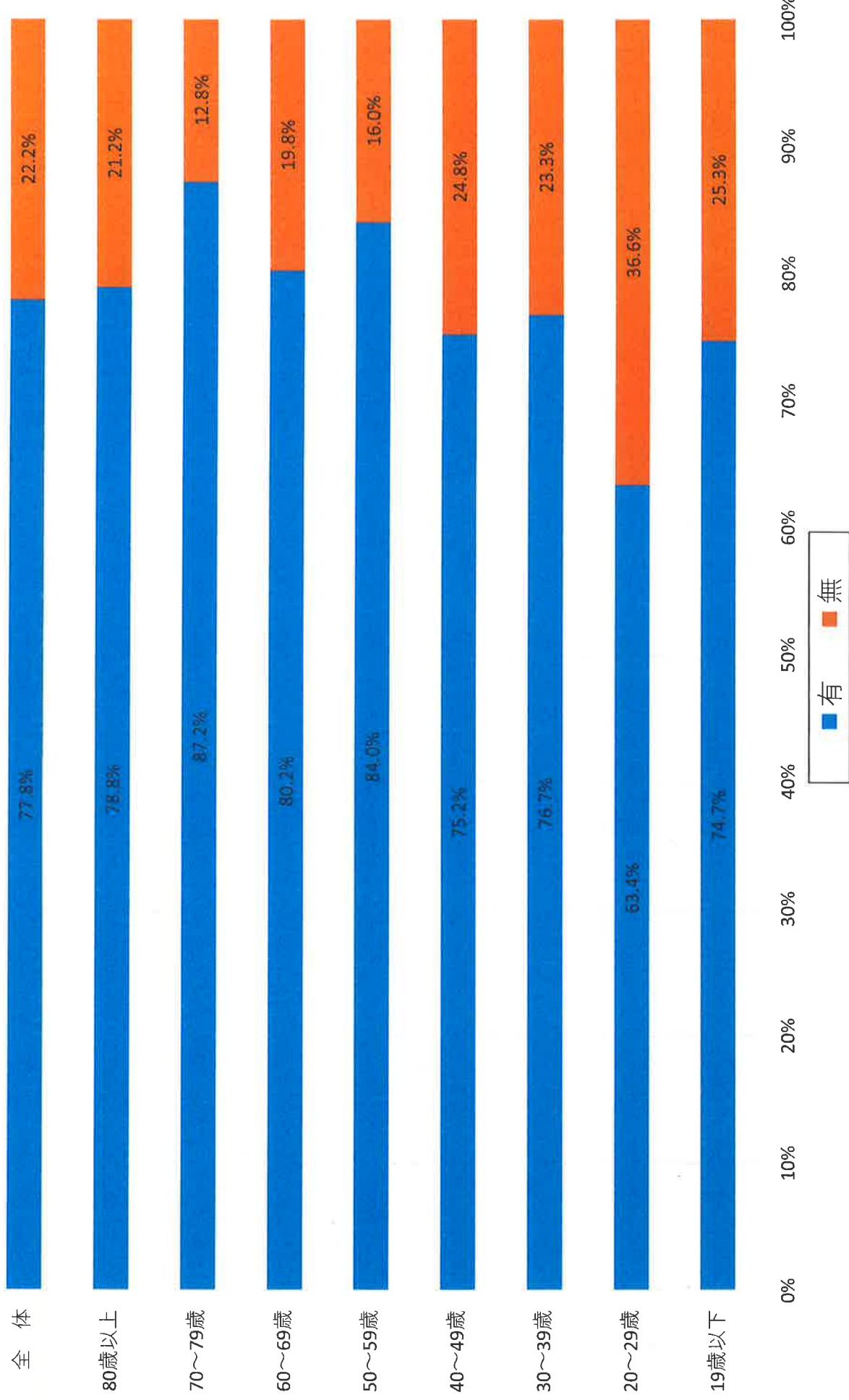
設問4：職業

資料3-⑦



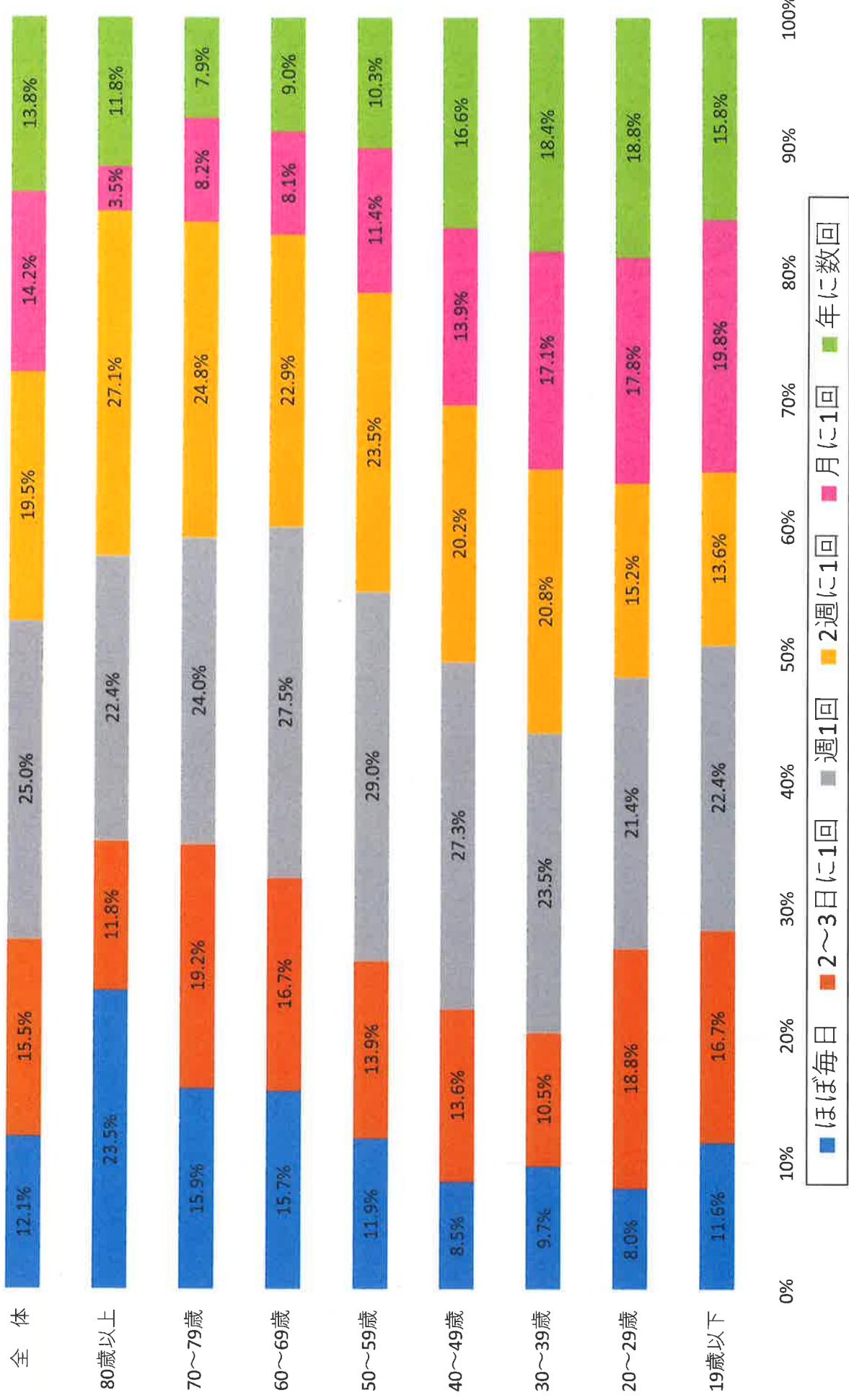
設問5：利用者力一下

資料3-⑧



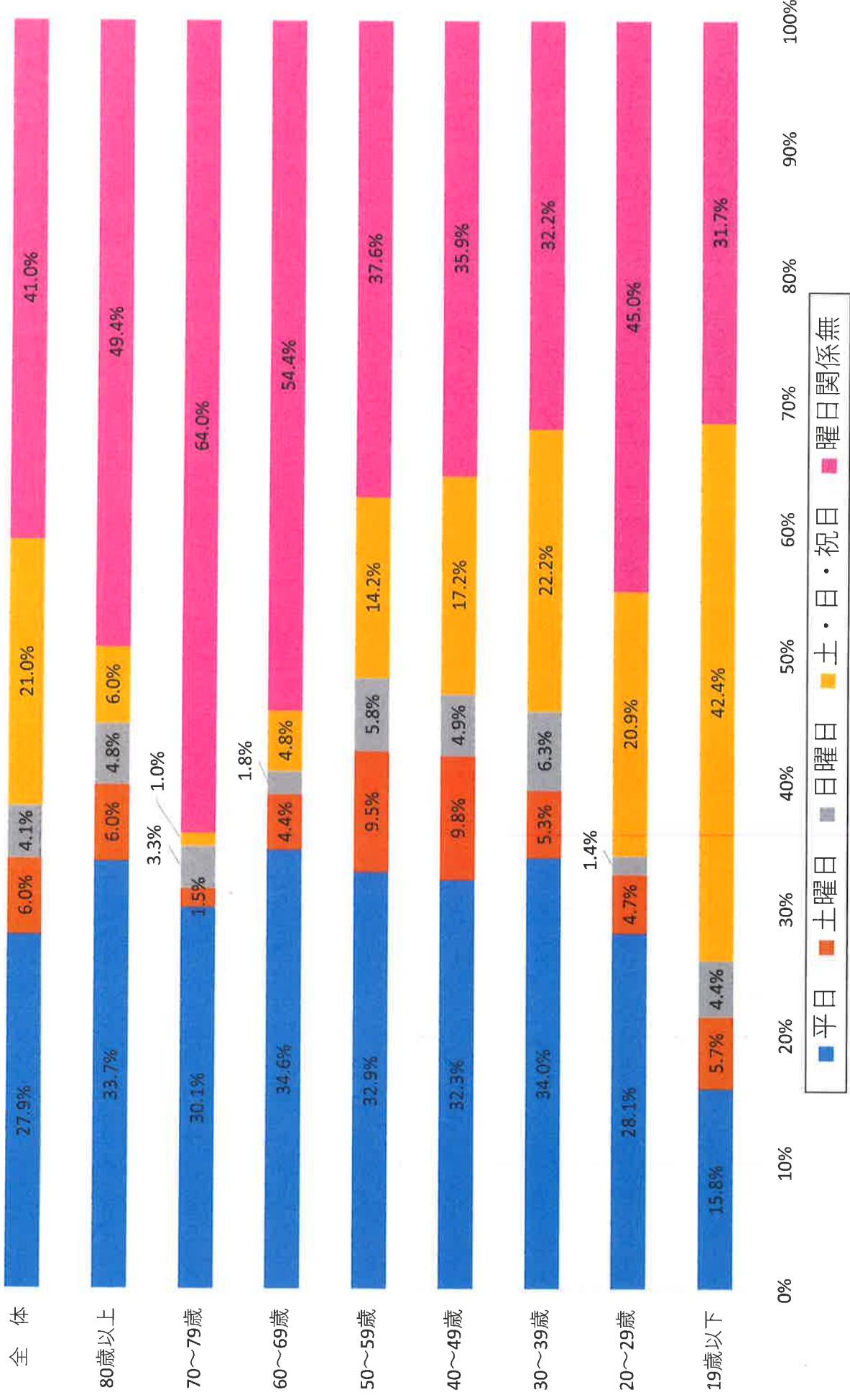
資料3-⑨

設問6：利用頻度



設問7：利用日

資料3-⑩



設問8：利用時間

資料3-⑪

